

# 先生のための 足立区都市農業公園学習ガイド (ティーチャーズガイド)



## 学校・保育園・幼稚園の先生方へ

この冊子は遠足や社会科見学の際にぜひ注目して見学していただきたいポイントや、公園の楽しみ方、授業計画の助けになる資料を目指して作成いたしました。公園内のフィールド別に情報をまとめましたので、活動に合わせてご活用ください。



足立区都市農業公園

2023.03 更新

# はじめに

## 足立区都市農業公園の基本情報

公園のテーマ

「自然に学ぶ、自然と遊ぶ、自然と共に生きる」

開園日	昭和 59 年 (1984) 10 月 平成 7 年 (1995) リニューアル
開園時間	9:00 ~ 17:00 (10 月 ~ 5 月) 9:00 ~ 18:00 (6 月 ~ 9 月)
敷地面積	総面積約 72,000 m <sup>2</sup> 7.2ha (公園部 55,000 m <sup>2</sup> 、河川敷部 17,000 m <sup>2</sup> )
主な施設	芝生広場：約 2,700 m <sup>2</sup> 田んぼ：約 1,400 m <sup>2</sup> 畑：約 2,800 m <sup>2</sup> 梅林：約 750 m <sup>2</sup> 河川敷花壇：約 2,200 m <sup>2</sup> 古民家：江戸後期建築 足立区指定文化財 昭和 59 年移築
主な樹木	桜 約 50 品種 250 本 梅 約 15 品種 33 本

## 目次

①畑	2
②田んぼ	3
③古民家	4
④農機具展示	5
その他の施設	6
ワークシート紹介	7
公園の利用にあたって	8

## 公園マップ





# ①畑



## 足立区都市農業公園の田畑ってどんなところ？

公園では、無農薬・無化学肥料栽培に取り組んでいます。主な肥料として使用する“堆肥”は園内で出る落ち葉や野菜くずから作っています。農薬を使わない田畑には野菜を食べてしまう害虫もいますが、害虫を食べにくる生きもの（益虫）もやってきます。畑の中にも小さな生態系ができています。

## 畑に集まる生きもの紹介



成虫

### モンシロチョウ

春～秋頃までは、園内でたくさんのモンシロチョウを観察できます。花壇には花の蜜を吸いに、畑のアブラナ科の野菜（キャベツやブロッコリー）には産卵のために集まっています。

畑で成虫を観察していると、産卵の瞬間を見ることができるともかもしれません。野菜を傷つけないように葉の裏側をそっと見てみると、小さな黄色の卵や幼虫を発見することができます。

園内の生きものは観察後に元の場所へ戻すようお願いしていますが、モンシロチョウ（幼虫）の場合は教材としての利用であれば、クラスでの飼育について公園スタッフがご相談に乗ることもできます。事前に公園スタッフへお問い合わせください。畑の幼虫を捕獲して、無断で持ち帰ることはご遠慮ください。



幼虫

他にも様々な生きものが見られます



イチモンジセセリ



アマガエル



セイヨウミツバチ



ナナホシテントウ



オンブバッタ



キアゲハ

※生きものを観察する際は、畑の中や畝（うね）の間に入らないようにしてください。

大切に育てている作物ですので、踏んでしまったり、ちぎってしまうことがないようにお願いいたします。



畑の畝（うね）の間

## 体験学習の提案

モンシロチョウの飼育（小学校中学年）

はっけんビンゴ（小学校低学年、巻末資料参照）

## ②田んぼ

### 田んぼの一年



夏の田んぼの様子



イネの花



収穫期の様子

5月の田植えから10月の稲刈りまではイネが育つ姿を観察できます。2面ある田んぼは合わせて約1400㎡の広さがあり、年間300～330kg程度のお米が収穫できます。田んぼに水が張られている6～7月にはオタマジャクシやハイイロゲンゴロウなどの水生生物、秋頃にはアキアカネやイナゴなど、田んぼには季節にあわせていろいろな生きものが集まります。

### 田んぼに集まる生きもの紹介



成虫

幼虫

#### ハイイロゲンゴロウ

よくいる場所：田んぼの水の中

時期：6月～9月

素早く泳ぐ姿が見られ、死んだ生きものやオタマジャクシを食べます。

幼虫は獲物に噛みつき消化液を出すので、触れるときは注意しましょう。



#### ハネナガイナゴ

よくいる場所：イネの間

時期：8月～10月

お尻の先よりも翅が長いのが特徴。人の気配を感じてイネの葉の陰に隠れるので、目を凝らして探してみましょう。

※網などを持参いただき、生きものを捕まえて観察をすることも可能です。その際には事前にご連絡いただき、利用ルールについて公園スタッフと打ち合わせをお願いいたします。

### 体験学習の提案

田んぼの生きもの探し（未就学～小学校中学年）



## ③古民家

### 古民家基礎情報

旧和井田家住宅（母屋）は江戸時代後期に建てられた建築とされ\*、足立区指定有形民俗文化財に指定されています（昭和58年12月16日指定）。公園に移設される前は、足立区花畑二丁目にありました。

東京でよく見られる寄棟型の茅葺屋根に、田の字型の間取り、土間を持ったつくりになっています。足立区の民家の典型的な例と言えますが、土間などにレンガが使用されていたりと、昔の住人の方々の生活に根差した珍しい特色も合わせ持っています。

\*東京都足立区教育委員会（1969）「足立区文化財調査報告書 古民家編」

### 見学のポイント



#### 茅葺き屋根

古民家の持つ独特な雰囲気演出する一番の特徴とも言えるのが茅葺きの屋根です。古くは綾瀬川など、川沿いの湿地の「茅場」で刈り取られた茅材でつくられてきました。時代が進んで、茅材を採る茅場と、茅葺き職人さんが減ったことが茅葺き屋根衰退の大きな要因です。



#### 間取りと土間

屋内は四部屋構成で（田の字型の間取り）、各部屋に固有の役割と格がありました。半屋内とも言える土間は、雨の日の農作業などに活用されていました。部屋と土間が一つ屋根の下にあるため、作業の合間に「ちょっと一休み」と部屋に腰かけて休憩をとることも容易です。



#### レンガの使用

旧和井田家住宅の他と違った特色の一つが、<sup>かまど</sup>竈や土間、玄関前にあしらわれたレンガにあります。先代の住人（和井田健次郎氏）が煉瓦焼きに深く関わっていたためにこうした意匠が施されています。煉瓦産業は足立の特色の一つでもあり、地域特性が色濃く表れた一面です。



#### 生活の知恵（水瓶・床下収納など）

外観以外にもまだまだ見どころがあります。例えば竈のわきの水瓶。水道のなかった時代、井戸から汲んだ水をここにため、飲み水や調理に使っていました。現代の暮らしのこの機能は古民家のどこにあったらう、という視点で見ると様々な発見があります。

## ④農機具展示

### 足立区都市農業公園の農機

一部の展示品を除き、動力を持たない、主に手で動かす農機具を紹介しています。多くは地域の方から寄贈していただいたもので、足立区で実際に使われていたものです。

農機具は、耕したり除草したりといった田畑の管理作業に使うもの、脱穀や精米など収穫物に手を加えるのに使うものなど、一通りのものが揃っています。また、全国的に広く使われていた道具の他に、本木のセリなど、足立区特産品の収穫に使われていた珍しい農機具もみることができます。

### 農機具のご紹介

#### (都市農業交流館)



#### せりつみタンゴ

足立区の特産品の本木セリは冬の収穫物でした。湿地を好むセリの収穫は、冬場に水につかっている作業となり、大変つらいものでした。せりつみタンゴは、この冬場のつらさを軽減するために足に嵌めて使うものです。外観からはちょっと想像しづらい利用方法です。



#### 手風呂

同じく本木セリの収穫時に使用されていた農機具です。金属でできた円筒形の容器が特徴です。実はこれは炉になっていて、この中で炭などを燃やし、桶の中にはった水をお湯にして、かじかむ手を温めていたのです。手風呂という名がそのものずばりの表現です。

#### (昔の農機具展示室)



#### 唐箕

風を起こして穀物を精選する農機具です。上部に乗せたじょうごから穀物を落とすと、実の詰まった重い穀粒は一番手前に、やや軽い粒や実のない粉は次の樋から、軽いごみは先の掃出し口から外に飛ばされます。精選する農機具として、他には箕や万石通しがあります。



#### 足踏脱穀機

稲穂から粉を扱き落とすための農機具です。江戸時代には千歯が発明されましたが、明治時代により高能率な脱穀用具として発明され各地に広まっていきました。踏み板を踏むことで突起のついた胴が回転し、回転部分に稲穂をあてて粉を扱き落とします。



# その他の施設紹介

## 都市農業交流館

公園の管理事務所の他、会議室、ビジターセンターなどがある施設です。交流館前の広場は団体のみなさんの記念撮影場所としても良く使われています。

だれでもトイレ、自動販売機、コインロッカーなどもあります。



## 人と自然の共生館

畑の近くにあるガラス温室のある施設です。温室内ではバナナやブーゲンビリアなどの熱帯の植物などが見られます。また建物周辺のハーブ園では、ローズマリーやラベンダーなどのハーブが見られます。館内のレクチャールームでは、公園周辺で見られる生物の他、自然物をつかったクラフトなどが展示されています。



## 工房棟

遊具広場の近くにある建物で、紙漉き染色室では解説員が常駐しています。農機具展示室では昔の農機具があり、桜の展示資料室では五色桜の由来となった江北地区の資料が展示してあります。

また工房棟のある遊具広場内には屋根付きの休憩ベンチもありますので、雨天時の昼食場所としてご利用いただくことも可能です。



## 芝生広場

約 2700 m<sup>2</sup>の広場は大人数での活動やレジャーシートを広げてのお昼休憩に利用できます。春に色とりどりの五色桜が咲き、秋には落ち葉を利用した活動も可能です。池につながる流れの側にはコナラもあり、10月頃にはどんぐりを拾うこともできます。



# ワークシート紹介

## ワークシート

1. 古民家ワークシート
2. 農機具ワークシート
3. 公園ワークシート（低学年用 / 高学年用）
4. 自然はっけんビンゴ

別紙のワークシートは社会科見学や遠足の際に引率の先生がコピーをして生徒に配布して使用していただくことを目的にしています。使用に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

※ワークシートは、公園ホームページのダウンロードメニューからダウンロードしてご活用ください。

足立区都市農業公園 HP <https://www.ces-net.jp/toshino/about/download.html>

### やっていいこと

- ◎コピーして生徒全員に配布する
- ◎季節に合わせてはっけんビンゴを書きかえて使用する

### やってはいけないこと

- ×ワークシートを自分が作ったものとして再配布する
- ×ワークシートの内容をHPやSNSで公開する





# 公園の利用にあたって

## 利用にあたってのお願い

- 他の団体、学校、一般のお客様など、公園は多くの方に利用していただくための施設です。周りの方の迷惑にならないように配慮をお願いいたします。
- 園内の動植物は基本的に採取できません。活動で使用したい場合はスタッフまでご相談ください。

## 各種申請書

団体で公園を利用する場合には「団体利用受付票」の提出をお願いしております。また駐車場・会議室を使用する際には別途、予約と申請が必要になります。各種申請書は足立区都市農業公園 HP (<https://www.ces-net.jp/toshino/index.html>) よりダウンロードしてご提出ください。ご不明な点はお電話(03-3853-4114)にてお気軽にお問い合わせください。

学校団体は、駐車場・会議室の利用料金が無料になりますのでご予約の際にご確認ください。

都市農業公園団体利用受付票

年 月 日

(提出先) 体験型有機農業パークマネジメント (FAX: 03-3853-3729)

【利用者】	
住所	
氏名	
代表者氏名	( )
電話番号	

【申請内容】	
使用日時	年 月 日 ( ) 午前 時 分 ~ 午後 時 分
使用区分	バス(台)・マイクロ(台)・普通車(台) 公共交通機関・徒歩・乗降のみ・その他( )
使用目的	
使用人員	大人 名・小人 名 合計 名

【ご案内】

- 団体利用のお申込みは利用日の属する月の2か月前の初日(休園日にあたる場合はその翌日)よりご利用いただけます。
- キャンセルご希望の際は、お電話で都市農業公園までご連絡ください。
- ご利用日変更の際は都市農業公園までご連絡の上、再度申請書をご提出ください。
- 団体利用各種申請書、会議室利用申請書をFAXでお送りいただいた場合、送信後に都市農業公園まで確認のご連絡をお願い致します。

上記の利用について承諾する。

決裁	園長	担当者	受付	受付番号





## 足立区都市農業公園 人と自然の共生館

住所：東京都足立区鹿浜2-44-1

電話：03-3853-8090

FAX：03-3853-8012

メール：[k\\_toshino@ces-net.jp](mailto:k_toshino@ces-net.jp)

開館時間：9時～16時30分

休館日：公園休園日（第1・第3水曜日、年末年始）